

## 目的

主体的に行動する市民の姿を示した『みんなごと』の実践的な取組を提示し、共感の輪を広げることで、市民の自発的な行動につなげていく。

具体的な若手市民・市職員グループの活動を通じて、基本計画に掲げられた「市民の役割」を例示することで、策定過程から次期基本計画の内容を市民と共有。

## 主体

本プロジェクトを、京都で活躍する若手経営者やNPO職員等が自主的に企画

### 企画会議

みんなが自分ごととして日々できることを示す

### 若手「市民」グループ

★それぞれの活動において基本計画の情報発信を行う



交流

社会に関心をもちながら自主的に研鑽を積む

### 若手「市職員」グループ

★市民向けイベント等で基本計画について紹介する

助言

### アドバイザー【ex-35】

現計画策定時に「未来の担い手・若者会議U35」として、基本計画策定段階から情報発信等に取り組んだメンバーが、前回の活動を踏まえて、活動への助言や支援を行う。

松山 大耕 氏 (妙心寺隠居院福住職)  
竹内 弘一 氏 (KBS京都キャスター)

等

## スケジュール

つなぐ・ひろげる

### 参加を呼び掛け

若手市民グループからの紹介で主体となるグループを拡げていく

グループを拡げるなかで、各分野の先端をいく若手経営者等の取組やこれから取り組んでいきたいことを適宜ヒアリング

### 基本計画の情報を発信，事業内容を検討

それぞれの活動を通じて基本計画の情報発信や連携事業の内容を検討

### 交流会の実施

グループ間の交流・協働を促進し、自発的な行動を拡げる  
未来の京都へのアイデアを集める

審議会にこれらの活動状況や若者のアイデア等を情報提供

第3回審議会において、企画会議メンバーの中馬氏から自身の取組等を発表してもらう予定

伝える・話す

### 基本計画及び実施計画のパブコメ期間中等に事業実施

・SNS等のメディアを活用した情報発信

・若手市民・市職員グループが様々な場所でイベントを実施

・個人事業主，障害のある方，学生など多様な人々から意見を得るための「出前パブコメ」の実施  
パブリックコメント普及協会の協力を得て実施



令和元年度

令和2年度